

アグファ OBERON RTR3300 をリリース

日本アグファ・ゲバルト株式会社（東京都品川区 代表取締役社長 岡本勝弘）は新しいハイエンドUV・RTRインクジェットプリンタ「OBERON RTR3300（オベロンRTR3300）」を販売開始します。同機種は3.3m幅に対応するロール専用プリンタであり、高い生産性と印刷品質を同時に実現し、ロール印刷を効率化する先進的な機能を搭載しています。

2021年2月17日

日本アグファ・ゲバルト株式会社

OBERON RTR3300（オベロン RTR3300）は4色+ホワイトまたは6色のヘッド構成で提供します。最大で224 m²/時の生産を可能にします。デュアルロールオプションでは1.6m幅のロールを2本、搭載することができます。

インクはOBERON RTR3300 専用開発され、ターポリン、メッシュ、ファブリックなど様々な印刷メディア上で優れた印刷品質を実現します。また印刷物からの化学物質の放出を規制したグリーンガードのゴールド認証を取得しており、学校や医療機関など高い安全性が求められる環境で安心してお使いいただけます。

OBERON RTR3300 はオペレーター視点で開発されたプリンタであり様々な印刷メディアと多彩なアプリケーションに対応し、インクジェット出力会社の“クリエイティブの想い”を叶えます。

空冷のLEDユニットに加えて水冷の印刷テーブルにより印刷基材の表面温度を室温と同レベルに抑えます。そのため、熱の影響を受けやすい薄物メディアも安心して印刷することができます。またメッシュキットによりライナーがついていないメッシュメディアへの印刷も可能です。

さらにOBERON RTR3300 はジョブの連続生産を可能とするマルチキュー、臨機応変な印刷を可能とするフリーフォール、印刷しながら内照アプリケーションの印刷品質を確認できるライトボックス、印刷中にセーフティセンサーが反応しても印刷が復帰するスマートライトカーテン、など便利かつ効率的にロール印刷を行うための機能を満載しました。

OBERON の開発にあたっては、「高い生産性を維持しつつ、印刷品質にも妥協はしませんでした。加えて、低いインク消費量による運用コストの削減を可能としています。そのことにより出力会社様の競争力向上に貢献すると信じています。この新しいエンジンはワイドフォーマットプリンターの製造・開発におけるアグファの長年の知識と経験に基づいて開発されました。アグファならではのインテグレーション・アプロ

ーチにより、プリンター、インク、印刷メディア、ソフトウェア、カラーマネジメントを統合して最高の品質と信頼性を確かなものとしています。」（プロダクトマネージャー 花摘孝明）

製品概要

生産性	最高224m ² /時
解像度	最高1200dpi
インク	CMYK+ホワイトまたはCMYK+ライトシアン、ライトマゼンタ
印刷幅	3.3m

アグファについて

アグファ・ゲバルト グループ（本社：ベルギー、モーツェル）は、世界有数のイメージングメーカーであり、世界 40 の国と地域に支社を置き、100 カ国以上でグローバルに展開しています。印刷業界および医療用の写真・デジタル画像システム、などの各事業を展開しています。アグファのグラフィックシステム製品としては、プリプレス工程で必要とされる刷版、ケミカル、自動現像機を始め、カラーマネージメントシステム、CTP システム、ワークフローシステム、インクジェットプリンタ、インクに至る総合デジタルソリューションが含まれています。

近年では、現像レスプレート「アズーラ」による速乾印刷や業界初のクラウドワークフロー「Apogee Cloud」、印刷現場の自動化・効率化を推進する「ファクトリーオートメーションシステム」など、革新的なソリューションを提供している印刷業界のリーディングカンパニーです。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先：

日本アグファ・ゲバルト株式会社

経営企画室 マーケティング&コミュニケーション担当 大岡 晶

TEL : 03-5487-8253 FAX : 03-5487-8256